

令和2年度

小千谷市地区別防災訓練のしおり

新潟県中越大震災の教訓と原子力発電所の過酷事故を想定した地区別防災訓練を実施します。多くの市民の皆様への参加と見学をお願いします。

※参加、見学の際はマスクの着用にご協力ください



住民避難訓練



初期消火訓練

【日時】 令和2年9月27日（日）

午前8時00分～午前11時30分

【会場】 小千谷市総合体育館ほか

【主催】 小千谷市地区別防災訓練実行委員会

【参加機関】 内ヶ巻自主防災会、川井本田自主防災会、川井新田自主防災会、真皿町内自主防災会、冬井自主防災会、戸屋自主防災会、おぢや震災ミュージアムそなえ館、小千谷市消防団、小千谷市消防本部、小千谷市

【目的】 自然災害、原子力災害が発生したときに備えて、自主防災会や消防団などの防災関係機関相互の連携を強化することにより、災害時に円滑に応急対策が実施されるため、また住民が「自らの身体と財産は自ら守る」という防災意識を持つことで、地域防災力の強化を図り、災害に強いまちづくりを推進することを目的としています。

【想定】 9月27日（日）午前8時00分、新潟県中越地方において強い地震が発生し、小千谷市では震度6強を記録した。この地震により、多数の家屋が倒壊するとともに火災が発生し、多くの負傷者が出ている。川井地区内自主防災会は、発災直後直ちにパトロールと住民の安否確認を行い、初期消火及び応急手当を実施するとともに避難行動要支援者の安否確認を行う。また、この地震により柏崎刈羽原子力発電所で事故が発生、格納容器ベントを実施することとなった。住民は、自宅等への屋内退避を実施し、その後の避難指示により市のマイクロバス又は自家用車で避難経路所に向かい、スクリーニング及び安定ヨウ素剤の緊急配布を受ける。

訓練概要

訓練項目		実施時間	会場	実施機関	訓練内容
1	災害情報伝達訓練	8:00~8:05	市内全域	市民 災害対策本部 消防団	緊急告知ラジコ等の情報伝達 地震発生をお知らせ
2	シェイクアウト訓練			市民	そのときにいる場所で「姿勢を低く、頭を守り、動かない」の3つの安全確保の行動をとる訓練
3	災害情報伝達訓練	8:05~8:10	市内全域	市民 災害対策本部 消防団	緊急告知ラジコ等の情報伝達 原子力災害発生をお知らせ
4	屋内退避訓練			市民	屋内退避指示を受け、外気の遮断及び情報収集を実施し、広域避難に備える
5	現場指揮本部設置訓練	8:05~8:20	主会場	消防本部 消防団	現場指揮本部を設置し、災害の情報収集及び消防活動の指揮命令、住民避難状況等の把握
6	被害情報等収集伝達訓練	8:10~8:20	川井地区 主会場	消防団	消防団等による被害情報収集及び現場指揮本部等への情報伝達
7	住民避難訓練	8:10~8:40	川井地区	自主防災会 町内会	町内指定の一時避難所等への避難
8	避難行動要支援者安否確認訓練				避難行動要支援者の安否・安全確認及び避難所等への避難支援訓練
9	避難所開設訓練				町内指定の一時避難所を開設し、避難者の受入れ、災害対策本部へ連絡
10	広域避難訓練	8:40~9:30			避難指示を受け、市マイクロバス及び自家用車で総合体育館（避難経由所）へ移動
11	スクリーニング訓練	9:30~9:50		災害対策本部	避難者に放射性物質が付着していないか検査
12	安定ヨウ素剤緊急配布訓練				避難者に安定ヨウ素剤の緊急配布を実施
13	原子力防災研修	9:50~10:05			原子力に関する基礎知識及び災害時の避難方法等の説明
14	避難所運営訓練	10:05~11:10	主会場	自主防災会 町内会	避難所の開設や運営方法、ダンボールベッドの組立て方について確認
15	初期消火訓練				水消火器による初期消火訓練の実施
16	負傷者応急処置訓練				けが人の手当てや搬送などの応急救護を実施
17	子ども防災講座			おぢや震災ミュージアムそなえ館	防災クイズ等による防災知識の習得

展示・体験コーナー

項目	時間	会場	実施機関・団体	内容
煙体験ハウス	9:30~11:00	主会場	消防本部	火災時の煙の恐ろしさを体験できます
水消火器体験				水消火器を使用することができます
はしご車の展示				中高層建物火災に対応するための最新式のはしご車を展示します

【問い合わせ先】 小千谷市役所危機管理課 Tel 0258-83-3515

